

一宮西病院を受診されていた患者さんのご家族の方へ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、一宮西病院倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	パニツムマブ投与患者における薬剤師診察前面談が皮膚障害および治療強度に与える影響に関する後方視的検討
研究機関名	一宮西病院
研究機関の長	病院長 上林弘和
担当科等	薬剤科
研究責任者	主任 江尻将之
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	パニツムマブは大腸癌治療において広く使用されている一方皮膚障害を高頻度に発現することが知られています。皮膚障害が重症化した場合、患者 QOL の低下に加え、投与延期、減量、中止の原因となり、治療強度の低下につながる可能性があります。これらの皮膚障害は適切なケアを行うことにより重症化を回避できることが知られています。当院では外来でパニツムマブを使用する患者の医師の診察前に薬剤師が診察前面談を行っています。今回その薬剤師面談が皮膚障害の発現状況および治療強度に与える影響を後方視的に評価することを目的としています。
対象となる患者さん	2022年11月～2025年12月までに一宮西病院でパニツムマブを受けた患者様
研究の方法	電子カルテによる後方視的な調査
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2027年03月31日
研究に用いる試料・情報	電子カルテに保存されている年齢、性別、診療科、血液検査結果、処方歴、皮膚障害の程度、抗がん剤の処方歴など
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
その他	既に実施済みの診療情報から、お名前、住所など個人を特定できる情報を削除して解析を行います。結果を学会や論文などに発表することがありますが、患者さんを特定できる個人情報を公開することはございません。
問い合わせ先	一宮西病院 薬剤科 担当者:薬剤師 江尻将之

〒494-0001 愛知県一宮市開明平 1 番地

電話 0586-48-0077